

平成26年度 指定管理者年度総合評価表

(平成26年4月～平成27年3月実施分)

作成日	平成27年 5月28日
-----	-------------

■指定管理者概要

施設名	八戸市中居林コミュニティセンター		
所在地	八戸市大字中居林字綿ノ端 13 番地 13		
施設概要	設置目的：地域住民の連帯と自治意識の向上を目的に、地域活動の拠点として設置 建物構造：鉄筋コンクリート造 2階建 延床面積 499.48 m ² 大ホール・和室等		
指定管理者	名称	中居林地区連合町内会	
	代表者	会長 中村 進一	
	所在地	八戸市大字中居林字綿ノ端 17-29	
指定期間	平成26年 4月 1日 ～ 平成31年 3月31日		
指定管理者の業務	(1)会館の利用に関する業務 (2)会館の施設、設備等の維持管理に関する業務 (3)その他、市長が必要と認める業務		
市所管課 (問合せ先)	福祉部 福祉政策課 指導監査グループ		
	電話	0178-43-9294 (直通)	
	E-mail	fukushiseisaku@city.hachinohe.aomori.jp	

■指定管理者による自己評価

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・館内の清掃や周辺の草取りなどの環境美化を徹底し、誰もが利用しやすい環境づくりを目指した。 ・学校や地域の活動と積極的に交流を図り、地域の拠点施設として開かれたセンターづくりに取り組んだ結果、昨年度より利用者を増やすことができた。 ・快適な利用環境を提供するため、業者による館内清掃を実施した。
今後の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで同様、関係法令を遵守し、適切な管理運営を続けていく。 ・災害発生時の拠点施設としての活動をさらに充実させる。 ・定期的に業者による清掃を実施し、施設の快適な環境維持に努めていく。

■市（所管課）の総合評価

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数が昨年度より増加しており、法令等を遵守し適正な施設管理が行われていた。 ・利用者の安全かつ快適な施設環境の確保に努めていた。 ・災害発生時の対応にも力を入れており、地域の拠点施設としての役割を果たしていた。
指摘事項	特になし。

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	利用者のニーズに合わせて開館時間を延長するなど、市民サービスの向上に努めていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	管理運営に必要な人員が配置されていた。
従事者の労働環境確保	—	地域住民による管理のため対象外。
従事者の教育・研修	—	地域住民による管理のため対象外。
緊急事態への対応	◎	防災訓練を行い、防災資機材の試運転を行うなど、事故、災害等の緊急事態に対する対応（準備）ができていた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	年度事業計画書、年度収支計画書、四半期業務報告書、年度事業報告書等が提出期限内に適切に提出されていた。
口座管理、経理の区分	—	指定管理料がないため対象外。
通帳、印鑑の管理	—	指定管理料がないため対象外。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	届出の必要な事例なし。
指定管理開始前における準備	—	21年度から25年度、26年度から30年度と継続して指定管理者の指定を受けているので、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	21年度から25年度、26年度から30年度と継続して指定管理者の指定を受けているので、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が適切に行われていた。 (使用制限、入場拒否等の事例はなし。)
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。

2 運営状況		
指標	評価	評価に対する説明
施設利用状況	○	利用件数は前年度を若干下回ったが、利用者数は概ね前年度と同様で、引き続き地域の交流の場として利用されていた。 平成 24 年度実績 632 件 8,596 人 平成 25 年度実績 664 件 7,672 人 平成 26 年度実績 550 件 8,035 人
その他の取り組み (運営に関する工夫)	○	地域貢献活動に取り組む中学生に館内清掃を手伝ってもらするなど、積極的に地域活動との交流を図っていた。

3 収支状況		
指標	評価	評価に対する説明
指定管理業務の収支状況	—	施設の維持管理に要する経費は、指定管理者が徴収する実費徴収金等で賄われていた。

4 運営に係る体制整備状況等の状況		
指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者から要望等を随時聞き取り、運営管理に反映させるよう努めていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	利用の際に設備の利用方法を周知するなど適切に実施されていた。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情、要望等は随時受付しており、体制が整備されていた。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等が無かった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	節電や節水を積極的に呼びかけ、環境への配慮を適切に行っていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
	実施状況
自主点検状況	毎日、朝と夕方に施設内を点検し設備や備品の状況把握に努めた。

2 定期モニタリング

定期報告状況	実施状況
	四半期業務報告書や年間事業報告書等が提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング

実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	3回	5月28日	GL、担当	管理運営状況実地調査
		12月15日	GL、担当	修繕箇所検査（屋外塗装）
		3月24日	GL、担当	修繕箇所検査（駐車場ライン、靴洗い場、2F 収納壁面）
実施結果				
設備及び備品の管理が適正に行われていることを確認した。				

※GL：グループリーダー